

# ワークいきいきライフいきいき “Wi-Liプラン”特集②

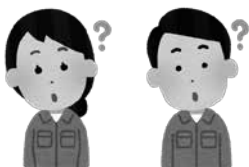
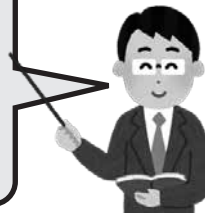
少子高齢化が急速に進み、育児・介護などに起因する課題は誰にでも生じる可能性がある今。それぞれが抱える家庭の事情に影響されることなく、仕事でも家庭でもいきいきと活躍し続けるためには、当事者だけでなく豊田自動織機で働く全員が意識と働き方を変えることがとても大切です。

労働組合は「意識変革・働き方改革」を重要な取り組みと位置付け、「ワークいきいきライフいきいき“Wi-Liプラン”」と命名して、みなさんと一緒になって取り組みをスタートすることにしました。ユニオンニュースでは取り組みの背景をシリーズでお伝えします。前回号(No.47)では「少子高齢化の課題解決のために必要なこと」についてお伝えしました。

(前回のおさらい)

少子高齢化の課題解決には

- 子供を産み・育てやすい環境(社会や会社)
  - 多くの女性や高齢者の方々が元気に働ける環境(社会や会社)
- をつくり、労働力人口の減少を抑えることが大切です。ご理解いただけましたか？



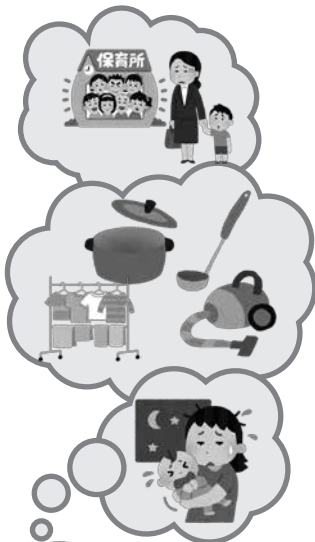
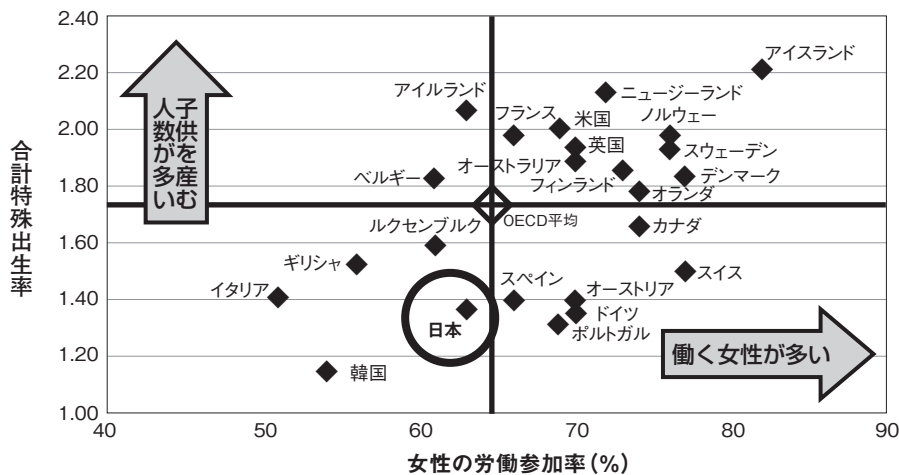
**でも働く女性が多くなると、結婚や出産をしない人が増えるんじゃない？**

そう考える日本人、特に年齢の高い方も多いようだけど正反対よ。下のグラフを見て。横軸は15歳から64歳の女性で働いている人の割合、縦軸は一人の女性が生涯に産む子供の数よ。**働いている女性の割合が高い国ほど、子供を産む数も多い**ことが分かるでしょう？



図表.OECD加盟24か国における女性労働力率と合計特殊出生率(2009年)

出典：内閣府男女共同参画会議 基本問題・影響調査専門調査会報告書 参考資料図表1



そんなこと言ったって…、「保育園落ちた日本…」のブログが話題になったように、子供を預けられなければ働けないじゃない!それに育児や家事だってほとんど女性がやっているのよ。あれもこれも女性に押し付けようとしていない？



その通り!!!だからこそ、いま大切なのは

- 子供を安心して預けて働ける社会、育児と仕事を両立できる会社
  - 男性も育児にしっかりと参加できる社会・会社
- をみんなが参加してつくっていくこと これがとても大切なのよ



**次号では、働く女性の思いについて考えます**